

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年7月23日(17:00~17:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本佳・加茂・久下・サトウ・岡田・上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	11人	人	人	16人

前回の改善計画
ご利用者の生活で困っている事や支援が必要なことを改善する為に、ご家族へ提案し意見交換や情報共有あらゆる手段を活用していき課題の改善に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
送迎時や手帳・メールで家族とコミュニケーションをとり意見交換できており、得た情報はLINEWORKSを活用して職員間で情報共有し意見を出し合い、多職種にて専門職にも助言を得て改善策や対応の提案し課題の解決に繋げることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	7	1	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7	9	0	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	9	7	0	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	10	0	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
前の事業所からの情報収集・事前面接を行い、情報は書面やLINEWORKSで発信され各職員がよく読み、利用開始前に情報共有が出来ており、本人に合わせた対応や必要をしているサービスが提供出来ている。本人がまだ慣れてない時期は関わる職員が意識を持って接し、声掛けを多くして関係が築けるように気遣いできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
書類情報が多い時もある為、状態像が伝わりにくく利用開始まで日が浅いと特に情報を追いきれず全体で共有できるまでに時間を要し把握に至らない事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
事前の情報を整理し画像や動画も添付し情報把握・共有をすすめる。支援の中で得た情報を発信し職員間で意見交換をおこない、統一したケア、必要としている支援を行なう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年8月25日(16:30~17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本佳・加茂・久下・岡田・上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	0人	0人	15人

前回の改善計画	本人の言動や表情の変化を見逃さず、支援の中で得た情報は記録して必要な情報は発信し、職員間で共有する。LINEWORKSでの発信・会議での振り返りの他、職員間で声をかけ合い本人の目標を目指した関わりを行なう。
前回の改善計画に対する取組み結果	変化を見逃さないようコミュニケーションをよくとり、関わりの中で得た情報は記録・必要な情報を発信し職員間で情報を共有して柔軟な対応ができた。会議で振り返りを行ない、本人の目標を目指した関わりにつなげる事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	14	1	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	13	0	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	14	0	0	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	12	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の会話や表情を確認しながら支援を行なうことはでき、職員全体で情報共有できている。本人の目標をケアプランや会議での情報発信により職員間で共有・把握し目標を目指した関わりや次の対応に活かすことができた。また、「本人目標」に向けた支援に対して本人の気持ちがついてこれない時に職員間で意見を出し合い寄り添った支援を心がけることが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍における感染症対策などの業務が増加の一途をたどることにより、利用者の目標把握しきれなかった時やコミュニケーションの時間が充分取れない場面があった為、目標を目指した関わりが出来ていない事があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
個別ファイルや事前の情報で利用者の目標を把握した上で色々な角度からアプローチを行ない、日々の関わりの中で得た情報を見える化して職員間で共有し本人の目標を目指した支援にチームで取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年8月25日(16:30~17:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本佳・加茂・久下・岡田・上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	0人	0人	15人

前回の改善計画
支援の中で得た情報(様子・状態・以前の暮らし方等)を記録し、本人の声にならない声を言語化しチームで共有して理解を深め、本人の気持ちに寄り添い状態に合わせた支援をする。

前回の改善計画に対する取組み結果
支援の中で得た情報は職員間で共有し本人の状態に合わせた支援を行ない、本人の気持ちにできるかぎり寄り添って一方的ではなく本人が納得できるようケアが行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	13	2	0	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	10	5	0	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	14	1	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	8	0	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	12	0	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事前情報・生活環境、いつもの状況を把握してケアにあたり、言動・体調・気持ちの変化に気づいた時はチームで情報共有し状態に合わせた支援を行なうことができた。チーム内で話し合い本人の声にならない声の言語化や残存機能の低下を防ぎ次の対応に繋げる事ができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
情報収集において、職員により収集量などに違いがでてしまい、以前の暮らし方や本人の声をひひも解くことに差異がでてしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
訪問・通い・泊まり時の支援の中で得た情報や家族からの情報を発信しミーティングを行ない、理解を深めチームで以前の暮らし方の把握や本人の声にならない声の言語化を進め支援に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月24日(16:30~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本佳・加茂・久下・岡田・上田・土屋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	1人	0人	16人

前回の改善計画	些細な情報もブルーオーシャン・LINEWORKS に記録して事業所が接していない時間の利用者の生活や必要な地域資源を把握し、利用者の状態に合わせたサービスを提供して地域での暮らしを支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者さんや地域資源について知り得た情報はブルーオーシャンやLINEWORKS に記録し、職員間で共有し地域資源を活用した地域の暮らし、利用者の状態に合わせたサービス提供ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	6	10	0	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	10	6	0	0	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	14	0	0	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	10	3	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人、家族から得た情報はブルーオーシャン・LINEWORKS で情報共有し本人のこれまでの生活スタイル、人間関係等を理解し、本人と家族、介護者や地域との関係が切れないように支援できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 知り得た情報はできる限り記録しているが、忙しい中で抜けたり、膨大な情報量の中で取捨仕切りれない面もあり、地域民生委員や地域資源・関わり・利用時間以外の生活を職員全体として把握しきれていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 職員一人ひとりが常に意識し、繊細な情報もメモ・ブルーオーシャン・LINEWORKS を活用して発信し職員間で情報共有して利用時間以外の生活や地域との関わり地域資源を把握する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月24日(17:00~17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本佳・加茂・久下・岡田・上田・土屋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	14人	0人	0人	16人

前回の改善計画	利用者が関わっている地域とコミュニケーションをとり地域包括支援センターなどが行う交流会等に参加し関わりを深め、地域資源を活用しながら利用者のニーズに合わせた柔軟な支援を提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者が関わっている地域、近隣の学校や馴染みのスーパーや美容院などコミュニケーションをとり地域資源を活用し利用者ニーズに合わせた柔軟な支援が提供できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	9	2	0	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11	5	0	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	9	7	0	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	11	5	0	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者さんのその時の状況・状態に合わせ、急なサービスの追加等にも対応できており、利用者さんの状態に合わせた柔軟な支援ができている。利用者さんの変化はブルーオーシャンやLINEWORKSで発信し職員間で情報共有できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 業務の中で細かな事や、いつもと違うと感じたことをその場で全てが記録に残せておらず後から思い出す形になっている事があり即時に情報共有が出来ていない。コロナ禍でもあり、地域の方とコミュニケーションをとったり情報を得る機会が少なく、地域資源の活用が不足している。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 訪問・送迎時やイベントでの地域とのコミュニケーションを継続し得た情報をブルーオーシャン・LINEWORKSを活用して職員間で共有し地域資源を活用しながら、利用者の状態、ニーズに合わせた、多機能な柔軟性ある支援を提供する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月19日(16:30~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本佳・加茂・久下・岡田・上田・土屋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	9人	0人	0人	15人

前回の改善計画	地域との繋がりやこれまでの関係を継続する為に、オンラインや物のやり取りなど感染対策を取りながら可能なイベントを企画し参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染症対策を行って施設防災訓練や夏祭り等のイベントを企画し、地域の方々が参加されている。また、市内小学校での福祉体験学習や地域主催の防災寺子屋など地域の方々と一緒に行ない関係の継続が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	15	0	0	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5	10	0	0	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	4	10	1	0	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	11	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス機関や自治体・地域の支会会議や地域包括支援センター主催の研修に参加しており、その中で必要な情報は他の職員にも発信されている。感染症対策を講じながら、ふらっとホーム(共生Café)や夏祭り・防災訓練など地域の機関と共に行う企画に消極的にならず前向きに取り組む地域の方々の関わりを深めることができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
夏祭りやふらっとホーム等のイベントで地域の方々が事業所を訪れる機会は増えているがこちらから利用者を連れて地域のイベントに参加することが少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き感染症対策を行い、季節の挨拶や手紙のやりとり等まめに交流を図り施設主催のイベントに地域の方々が来て下さるようにwithコロナ企画案を計画する。また、地域主催のイベントに参加して地域の方々の関わりを継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月19日(17:00~17:30)

7. 運営

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本佳・加茂・久下・岡田・上田・土屋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	0人	0人	15人

前回の改善計画
利用者・家族・地域との日々の関わりを大切に、グリーンヒルを知って頂き、意見を頂きやすい関係の構築をする。また、職員の意見も含め会議に上げ、運営に反映していく。グリーンヒル八千代台は15周年を迎えるにあたり、地域の方々により知ってもらえるように活動風景など冊子等を配布し地域の拠点として活動できるよう周知していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
感染症対策を行いながら少しずつイベントを開催出来る様になっており、HPを活用し活動を知って頂いたり利用者、家族に地域の人々にグリーンヒルを身近に感じて頂き意見を頂きやすい関係の構築を行いいただいた意見を運営に反映できるようにしている。15周年については地域の方々も含めたキッチンカーでのお弁当配布を行いwithコロナとしての第一弾の地域交流イベントとなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	11	0	0	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	10	0	0	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	10	0	0	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	6	9	0	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者・家族、地域の方等からの意見や苦情は真摯に受け止め柔軟に対応し、会議でも議題に上げられ意見を取り交わし全体で改善に向けての努力をすることができる。また、ふらっとホーム(共生Café)では社協、支会、ボランティアと一緒に近隣の小学校と福祉体験学習・防災訓練など地域に必要とされる地域拠点として地域と協働した取組み実施している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
上長の指示を待ってしまい職員一人ひとりが事業所のあり方を考え行動するまでは至っていないことが多いと感じている、意見を持っていても中々会議などで提案していくことが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
事業所運営について職員一人ひとりが意識し、意見を持ちLINEWORKSや会議の場など発信しやすい環境づくりを行う。また、外部に向けてはHP・広報紙の活動計画・報告を充実させ利用者・家族・地域に向けて発信を継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月28日(16:30~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本佳・加茂・久下・岡田・上田・土屋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	11人	人	人	15人

前回の改善計画	研修に参加した職員が伝達研修を行い、他の職員に報告伝達し現場で実践出来る内容は職員間で行い研修内容をチームで共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修に参加した職員が内容を会議で報告し、実践可能な取組み等をまとめて他の職員に伝達したり業務中に教えられる事は伝えて研修内容をチームで共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	9			15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	9			15
③	地域連絡会に参加していますか	8	7			15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	8			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
各研修や地域連絡会に参加し、部署内で必要な内容は職員間で共有できるよう情報発信、伝達研修を行っている。ひやりハットや事故報告は速やかに提出し、委員会や会議で予防方法や対応を検討しリスクマネジメントに取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍で個々のWeb研修は可能となっているがまだ、他事業所の方々とコミュニケーションを含んだ研修機会は少なく他法人との意見交換などができていない現状がまだある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
研修に参加した職員が意識づけいくポイントなどわかりやすく他の職員に向けて発信し、体験・実践可能な内容は職員間で行ったり会議の場を用いて内容を共有し伝達研修を充実させるとともに、他事業所との研修会などにも色々な職員で参加していける様にしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月28日(17:00~17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本佳・加茂・久下・岡田・上田・土屋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	8人	人	人	15人

前回の改善計画	プライバシーの保護を徹底できるよう、職員間の伝達はBO・LINEWORKS・メモを活用し利用者に配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果	昨年と比べ、情報伝達はブルーオーシャン(BO)・LINEWORKS・メモの活用を徹底できており、最大限プライバシーに配慮することができている。個人情報に関するものは管理方法や破棄の際のシュレッター使用が徹底されている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	6			15
②	虐待は行われていない	11	4			15
③	プライバシーが守られている	6	9			15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	9			15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	12			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員ひとり一人が接し方・声掛けに気を付け、職員間で声をかけあいプライバシーを常に意識し介護できている。身体拘束や虐待について、定期の研修以外にも随時研修を取り入れて、職員一人ひとりが理解して利用者へのサービス提供をおこなっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
送迎などで乗り合わせる利用者同士ではどうしても住所などが把握し合ってしまう事もあり、話の中で個人情報が出てしまう事もあり、職員が間に入り気を配る必要がある。言葉や物の把握など細かな拘束につながるものへ職員個々も充分理解できる研修をしていく必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ふらっとホームなど外部との関わりも増えてきた事も踏まえ、職員間の伝達はBO・LINEWORKS・メモを活用し、口頭の際は声の大きさや内容に注意しプライバシーの保護に努める。言葉や物の配置など多面的に拘束などにつながらないように個々の職員が学べる機会をつくり、LINEWORKSなどを活用して随時発信し理解を深めていく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠耀会	代表者	理事長 津川恵美子	法人・ 事業所 の特徴	ご利用者やその家族等のニーズに適宜対応するために、必要なサービスを柔軟に組み合わせて提供することにより、ご利用者の地域生活を総合的に支援し、安心を提供する為、事業所としてご利用者の日々の生活に変化が起きても、フレキシブルな対応を可能にするため、多職種やサテライトとの協働により「介護が中重度になっても“自分らしい生活の実現”」という思いに応えるべく、きめ細やか支援に取り組んでいきます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台	管理者	大竹 暁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	4人	0人	1人	1人	1人	2人	2人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ご利用者の言動や表情の変化を見逃さず、支援の中で得た情報は記録して必要な情報は発信し、職員間で共有する。LINEWORKSでの発信・会議での振り返りの他、職員間で声をかけ合い本人の目標を目指した関わり、多角的に意見を出し合っていきます。	本人の目標を目指した関わりをするにあたり、コミュニケーションが十分ではないと感じることもあったが、職員間で声を掛け合い、また意見を出し合える環境整備にも努め、ご利用者への支援を行なっている。	写真付きのお便りを持ちいて解りやすく説明をして頂いているので状況が伝わっている印象です。	ご利用者の情報や目標を把握した上でチームでどう取り組んでいくかを職員間で共有する。支援の中で得た情報は写真や動画なども活用し、見える化することで次へのアプローチへの意見交換をしやすい環境を作る。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ禍における感染症対策(うがい・手洗い・マスク着用等)と居心地の良い空間づくりの両立できる様に季節毎の飾りやご利用者自身の作品展示をおこなっていきともに環境作りをおこなう。	感染症対策の徹底を講じた上で季節毎の飾りつけやイベントを楽しんでいただくことができました。ご利用者の作品展示も事業所エバナー脇のスペースに展示している。	With コロナでの外部との関わりが限られる中で5~7の計画が行われご苦労されています。	今年度は、大規模修繕工事が行われ、館内の雰囲気も変わるが、くつろぎと居心地のいい空間作りを意識し、季節感をもった環境作りにも努めていく。
C. 事業所と地域のかかわり	グリーンヒル八千代台は15周年を迎えるにあたり、地域の方々により知ってもらえるように活動風景など冊子等を配布し地域の拠点として活動できるよう周知していく、またWebなども活用した交流も行ない地域との関わりと図っていく。	15周年については、地域の方々も含めたキッチンでのお弁当配布を行ない、With コロナとしての地域交流、イベントが出来た。他イベントに関しても開催規模や方法について、ご意見を頂戴しながら無事に行なう事が出来、HP等での紹介が出来ている。	コロナ禍で大変だったかと思いますが、貴事業所の「ふらっとホーム」には、地域の担い手の方や子どもから高齢者まで多世代が集まる場が定着していると思います。地域のイベントや八千代市主催の講座講師、地域包括の介護予防講座講師等多くの取り込みをされていると思います。事業所の捉える地域範囲と活動内容が分かり難い。	ふらっとホームや地域サークルの活動軌道により、地域住民の方々の立ち寄りもコロナ前の活気に戻りつつあるため、イベントなどへの参加を通して地域の相談ごとに共に取り組んでいく。グリーンヒル八千代台として地域を、八千代台圏域(北西・南東)・その他圏域(近隣市含む)と3ブロック化して担当者を配置し担当者同士効力をして地域活動をおこなう。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域資源の活用等にも視点をもって利用者の支援にあたり、身体的・内面的変化にいち早く気づけるように努め、本人が望む支援へ連携を取って柔軟な支援をおこなう。	コロナ禍で地域の方々とのコミュニケーションをとる機会が減少したことは否めないが、その中で馴染みのスーパーや美容院など継続してコミュニケーションを図って支援につなげることができた。	コロナ禍で注意をしながら、外出の機会を多く作っていたと思います。八千代台のお祭りにも数年ぶりに参加出来て、ご利用者様の笑顔の写真が印象的でした。	徐々に地域行事に参加を再開しながら社会福祉協議会との連携も継続し、「地域で支える支援」に向けて、コミュニケーションを図り、情報共有を図って取り組んでいく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を活かし、自治会や地域包括支援センター、社会福祉協議会・民生委員等と連携を取りながら地域の課題を一つひとつ解決に向けて話し合い、一緒に考えていくことで、地域の支え合いを目指した会議を実施する。	ふらっとホームの再開により、活気も戻ってきています。自治会・地域包括支援センター・社会福祉協議会等と連携を取り組みで地域での課題を共有出来る様に再構築を進めることが出来ている。	構成員も発言しやすい環境を作っていることで様々な視点で活発的な意見がでてきていると思います。関わりのある利用者様についての報告や動向をしっかりと伝えていただいています。	ふらっとホームなど地域の方々や協働で取り組みながら、地域での課題や取り組みを自治会や地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携を取りながら共有していく。今年度は認知症カフェ等も各関係機関とともに取り組みをおこなう。
F. 事業所の防災・災害対策	避難経路の見直しなど避難ツールの再検討をし、運営推進会議委員の方々や民生委員・自治会の方々も参加して頂いての防災訓練を計画を作成して実施していく。	八千代市の防災訓練において、福祉避難所訓練に参加。地域の方や運営推進委員の方にもご意見を頂く機会も設けられ、事業所の防災意識も高める事につながった。防災寺子屋にも参加し、地域の皆さんと防災について共有を図ることもできました。	BCPも策定されており、対策をしっかりとされている印象です。以前は包括支援センターも参加されていたこともありまして今後参加の機会を頂けると有難く思います。	避難経路の再確認を修繕工事後に、運営推進会議委員の方々や民生委員・自治会の方々にも確認していただく機会を作り、防災についての取り組み、防災計画を防災訓練等を通して共有して頂けるようにしていきたい。